



静岡県議会議員
鈴木 啓嗣

ごあいさつ

未だに収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染拡大、昨年からの様々な対策により、私たちの暮らしは大きく変わってしまいました。また、経済への影響も甚大で、戦後最大の下げ幅とされています。このように、コロナが日本全国に大きな打撃を与えている今、コロナ問題の解決に向けた国家的な大きな流れが必要ですが、それに併せ、それぞれの地域性に合った対策を構築することも大切です。そのためには、地域の実情を把握することが大変重要になりますので、ぜひ皆様の地域の声をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

また、コロナ対策以外にもこの地域には様々な課題があり、それらを一つ一つ着実に解決するためには、国・県・市が行政の垣根を越え、一体となって課題に取り組むことが必要です。そうした連携強化のため、地域の国会議員、県議員、市議員により、地域の課題解決に取り組む「環浜名湖振興議員連盟」を昨年末に設立いたしました。この議員連盟の設立により地域の課題解決が加速することを大いに期待しております。私も「環浜名湖振興議員連盟」の事務局長を拝命し、更なる地域振興のために尽力してまいります。

国難ともいわれる今、こういう厳しい時だからこそ、皆様の声が私を突き動かす原動力になりますので、今後ご指導ご鞭撻、そしてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

静岡県議会本会議での質問

ご覧ください

令和元年12月11日に続き令和2年6月29日 下記内容で鈴木啓嗣が質問いたしました。 自民改革会議ホームページ(<http://www.jimin-kk.com>)で、質問・答弁を動画で見ることができます。



- 1.新型コロナウイルス感染症を踏まえた中小企業等のBCP策定の支援について
- 2.沿岸地域の振興策について
- 3.外国人県民の子供たちの就学促進について
- 4.頻発する豪雨等に対する土砂災害対策の推進について
- 5.大規模災害時における廃棄物処理対策について
- 6.県内における豚熱(CSF)対策について

沿岸地域の振興策では、知事が、ポスト東京時代の新しい地方創生の牽引モデルとして発展していけるよう、沿岸地域振興の取組みを加速し、実効性の高い振興策を積極的に展開していくと答弁しました。前回の一般質問でも項目にありました豚熱(CSF)対策では、志村信明農林水産担当部長が、昨年9月から野生イノシシにワクチンを散布した結果、今年5月時点で県全域の平均で抗体率が26%になったと報告。「撲滅の目安となる60%まで散布を継続する」と答弁しました。また、土砂災害対策で、難波喬司副知事は、3月に18,000カ所余の災害警戒区域の指定が終了し、優先度に応じた土砂災害防止施設の整備を進めるとの方針を示しました。大規模災害時における廃棄物処理対策では、市川敏之くらし・環境部長が、近年被災した自治体の処理方法などの事例を検証し、県内市町や他県と連携して、迅速に処理できるよう取り組むと答弁しました。

静岡県議会常任委員会

令和2年度は建設委員会に所属しています。

建設委員会では交通基盤部、収用委員会を所管しており、道路、河川、港湾、農地や森林などを整備したり、まちづくりをする仕事に関する事項を審議しています。

鈴木啓嗣は建設委員会で様々な質疑をしています。

- ・新型コロナウイルス感染症により、影響を受けている公共交通事業者への支援について
- ・公共交通路線維持のため、公共交通への自動運転システム導入について
- ・コロナの影響に伴い施設整備計画の総点検が行われる、遠州灘海浜公園(篠原地区)の整備について
- ・深刻化する建設産業における人材確保の課題と、その解決に向けた県の取り組みについて
- ・土砂災害警戒情報の基準の精度向上と、県民に向けた最新情報の周知方法について
- ・水害から県民の命を守るための、最大クラスの洪水・高潮による浸水想定区域図作成について
- ・自然災害が頻発化、激甚化している状況を踏まえた、都市計画区域マスタープランの見直しについて
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、社会状況の変化を考慮したまちづくりについて
- ・新型コロナウイルス感染症対策による、県内港湾への船舶入港制限について
- ・公共施設を運営管理する指定管理者の選定と、施設運営に関する指定管理者への評価について

新型コロナウイルス感染症対策を主とする静岡県の補正予算

新型コロナウイルス感染症は県民生活に大きな影響を及ぼしています。そのため県では、コロナ対策事業を強く推し進めるため、2月～12月の6回にわたり、合計1,250億円にのぼる補正予算を組んでいます。この予算規模は、当初予算1兆2,792億円の約9.8%にあたる大きなものになっています。

政務調査活動等

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい財政状況下でも、やるべきことはたくさんあります。



河川整備状況視察



雑木雑草の状況視察



地域内のパトロール



急傾斜地の状況確認

委員会・議員連盟活動等



防災関連施設の視察



観光産業振興議連視察



県政報告会



地域の状況聴取

県政報告会等を実施

新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金



新型コロナウイルス感染症の最前線で活躍されている方々などを支援するため、県議会議員全員の立案で、令和2年5月、「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を設立し、皆様からの寄附を募っております。